# ネコソギトップＲＸ

実際に使用する際は必ず商品ラベルをよく読み、記載内容に従ってお使いください。

農林水産省登録　第 23178 号

農薬の名称　　ネコソギトップＲＸ

農薬の種類　　ブロマシル・ＤＣＭＵ・ＭＣＰＰ粒剤

成分

・　ブロマシル・・・・・1.5%

[5 - ブロモ - 3 - セコンダリーブチル - 6 - メチルウラシル]

・　ＤＣＭＵ・・・・・・・・3.0%

[3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素]

・　ＭＣＰＰ・・・・・・1.5%

[α-（2-メチル-4-クロロフェノキシ）プロピオン酸カリウム]

・　鉱物質微粉等・・・・94.0%

性状　　類白色細粒

適用雑草と使用方法

| 作物名 | 適用場所 | 適用雑草名 | 使用時期 | 使用量 | 使用方法 | 総使用回数※ | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 樹木等 | 公園<br>庭園<br>堤とう<br>駐車場<br>道路<br>運動場<br>宅地等 | 一年生雑草 | 雑草発生前 | 5～15 g/㎡ | 植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布 | 本剤及びﾌﾞﾛﾏｼﾙを含む農薬<br>2 回以内 | DCMU 及び MCPP を含む農薬<br>3 回以内 |
| | | 一年生広葉雑草 | 雑草生育初期（草丈 20cm 以下） | | | | |
| | | 一年生イネ科雑草<br>多年生雑草 | | 15～30 g/㎡ | | | |

※は本剤及び本有効成分を含む農薬を、年間に同一場所に使用できる総使用回数の制限を示す。

● 雑草の発生前では 1 ㎡当り 5～15g を、雑草の生育初期では、一年生広葉雑草に対しては 1 ㎡当り 5～15g を、一年生イネ科雑草・多年生雑草に対しては 1 ㎡当り 15～30g を均一に土壌に散布します。

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 植栽地を除く樹木等の周辺地で使用する場合は、薬剤が樹木等の植栽地に流入または飛散するおそれがある場所等では使用しない（薬害）
- 本剤が植物の根から吸収されると薬害が発生するので、水田や水田への利用が考えられる用水路等に本剤の流入が想定される場所や、農作物および樹木等有用植物の付近では使用しない（薬害）
- 本剤が流出するような激しい降雨が予想される場合は散布を行わない。
- 傾斜地や砂質土壌では、本剤の流出による薬害のおそれがあるので使用しない（薬害）
- 本剤を散布した場所やその付近では、有用植物の植付けは行わない（薬害）
- ハウス等の施設内およびその周辺では使用しない。［施設内使用禁止マーク］
- 土壌が乾燥しているときは効果が劣る場合があるので、適度の湿り気のあるときに均一に散布する（効果）
- 水源池、飲料水、灌漑用井戸、養殖池等に本剤の飛散や流入及び浸透が想定される場所では散布を行わない。
- 散布器具、容器はよく洗浄し、洗浄廃液は直接河川や用水路に流れ込まないように十分注意し、環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 空袋、空容器等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理する。
- 使用量、使用時期、使用方法を守る。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所または販売店と相談することが望ましい。

安全使用上の注意

- 眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける（刺激性）
- 散布時は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用する。［マスク着用マーク］
  作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- 公園、堤とうなどで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後（最小限その当日）に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管する。

魚毒性等・・・河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意（藻類）。
散布器具・容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

保管・・・・密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、子供の手の届かない冷涼・乾燥した所。